旭ヶ丘キリストの教会
主日礼拝順序
２０２０年６月２１日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙　　祷		一　同
讃　　美※	聖歌586「いかにけがれたる」	一　同
主の祈り※	（聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください）	
讃　　美	聖歌642「望みも消えゆくまでに」	一　同
教会学校	紙芝居「僕は聞いています」	牧　師
讃　　美	聖歌294「静かに待て我魂よ」	一　同
聖書朗読	エレミヤ43:1-7	
奨　　励	エレミヤ書の福音(第42回)	牧　師
主　　題	「苦難に学ぶ」	
讃　　美	聖歌336「いかに恐るべき」	一　同
献　　金	献金と感謝の祈り	
聖　　餐		
頌　　栄※	聖歌376「父、御子、御霊の」	一　同
祝　　祷※		牧　師
来週の箇所	ヨハネによる福音書 17:20-26	

※印のところでは御起立下さい。

☆　はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申しあげます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
☆　私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
☆　献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです（２コリント9:7）。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
☆　キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
☆　第二礼拝後、軽食を用意してありますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
☆　二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会　ニュース

《今週の歩み》
６/21(日)聖日礼拝
/22(月)
/23(火)
/24(水)14:00牧師祈会(上杉)
/25(木)10:00祈り会
/26(金)
/27(土)13-16子供ｵｰﾌﾟﾝﾊｳｽ

《祈りの課題》
①コロナ禍の収束のために
②礼拝に来れなかった人々のために
③主が教会学校の子供たちもお送り下さいますように

良書ハイライト

「ウイルスは悪玉生物か？」

ジョン・レノックス著「コロナウイルス禍の世界で、神はどこにいるのか？」
訳：山形優子フットマン（いのちのことば社，2020）より

「多くの人々はウイルスという言葉を聞くと震え上がる。インフルエンザ、HIV、黄熱やエボラなどを想像するからだろう。ウイルスを怖がるのは当然だ。恐ろしい疾患をもたらし、時には耐えがたいほどの痛みを伴う死へと追いやるのだから。

しかしながら、人体を壊そうとする21種類の型のウイルスは、地球上にある一億種のウイルスのほんの一部に過ぎない。ほとんどのウイルスは実は、我々の生活に重要なものである。

これら“良性”のウイルスの数が非常に多いことは実に驚くべき事である。湖や川で発生するウイルスの濃度は、だいたい1ミリリットルあたり1億である。これは小さじ四分の一の水の中に、オーストラリアの人口の四倍以上を密集させた量だ。

ウイルスは、それ自体で生きている生物ではない。ウイルスはタンパク質に覆われた遺伝物質（ＤＮＡまたはＲＮＡ）のかけらで、寄生虫のような行動をとる。狙った細胞（ホスト）にくっつき、その遺伝物質をホストの体内に注入し、ホスト細胞の代謝経路を利用して増殖、その結果、細胞は破壊されるーー細胞は爆発（溶解）し、数百ものウイルスを放出する。膨大なバクテリア増殖量とウイルス感染が生態系を機能させているのだ。

したがって、ウイルスは無機栄養素のリサイクルにおいて重要な役割を担っている。小さくて、取るに足らないようだが、食物網を通じて栄養物をリサイクルするという地球レベルで必要不可欠な役割を果たす。ウイルスが持つ、人類生存への良い影響を我々はようやく解明し始めている。…一つ明らかなことは、我々にとってウイルスは縁の下の力持ちなのである。」

（グリフィス大学オーストラリアン・リバー研究所准教授ピーター・ボラードが『世界経済フォーラム』に書いた記事の抜粋）